

東京都食品ロス削減推進計画の概要

食品ロス削減の推進に向けて

- 生産から消費に至るまでのあらゆる段階で発生している食品ロスは、資源の無駄だけでなくCO₂排出の面からも喫緊に取り組むべき課題
- 食品ロス削減推進法に基づく都の食品ロス削減推進計画を策定し、多岐にわたる食品ロス対策を着実に進めるため、事業者、消費者、行政等が緊密に連携を図り一丸となって取組を推進

食品ロス発生量実質ゼロを目指して

- ・ 食品需給量のマッチングによる過剰供給の抑制
- ・ 革新的技術による製品開発
- ・ フードシェアリングサービスの普及・定着
- ・ 環境に配慮した食生活の充実

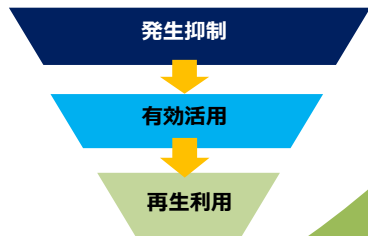
Goal - 都が目指す2050年の姿 -

➤ 食品ロス発生量 **実質ゼロ**

Milestone - 2030年目標 -

■ 2000年度と比較した食品ロス発生量 **半減**

● 食品ロス削減の取組の優先順位



2021年

2030年

施策の進め方

■ 東京都食品ロス削減パートナーシップ会議による連携

- ・ 同会議及び構成メンバーである関係団体等と連携し、多岐にわたる食品ロスの各施策を実効性ある形で進めていく

■ 区市町村、九都県市等との連携

■ 持続可能な資源利用の実現に向けた環境学習の充実

- ・ 教育関係部署との連携や、子どもから大人まで幅広い世代への食育等を通じ、食品ロスに関する環境学習を充実

2030年の目標達成に向けた主な施策

■ 発生抑制（リデュース）を基調とした持続可能な循環型社会へ

(1) 家庭系の食品ロス削減

- ・ 食品ロスに関する正しい知識の理解促進、冷蔵庫のストックチェック等の食品ロス削減行動の習慣化などについて、オンライン等を活用して効果的に普及啓発

(2) 事業系の食品ロス削減

- ・ 食品ロス削減に知見を有するアドバイザーが飲食店で助言するほか食品ロス削減につながる優良事例を共有

■ 先進技術を活用した食品ロスの削減

- ・ ICT等を活用した高精度な需要予測の利用促進のほか、高度な包装・冷凍技術による食品のロングライフ化について、実証事業を通じて一層の開発・利用を促進

■ フードサプライチェーンの連携した取組の推進

- ・ 商慣習の見直しの好事例を広く共有するほか、取組状況を消費者に対して発信

■ 未利用食品の有効活用の推進

- ・ 区市町村等の保有する防災備蓄食品とフードバンクをマッチングするシステムにより積極的に有効活用を図る

■ 食品リサイクルの推進

- ・ 発生抑制等に最大限努めた上でも発生する食品ロスは、飼料化・肥料化等によるリサイクルを推進



東京食品ロスゼロアクション
(啓発冊子)



東京都食品ロス削減パートナーシップ会議